令　和　７　年 度

通 常 総 会 議 案

日　時　：　令和７年６月２５日（水）１５：００
会　場　：　カクイックス交流センター
　　大研修室１(東棟３階)

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会

総　会　次　第

1.　　開　会

2.　　会　長　挨　拶

3.　　来　賓　挨　拶

鹿児島県国際交流課長　　甫立　哲一郎氏

4.　議　長　選　任

5.　議　事

第１号議案　　令和６年度事業報告
第２号議案　　令和６年度収支決算報告
（監査報告）
第３号議案　　令和７年度事業計画（案）
第４号議案　　令和７年度収支予算（案）
その他
・人事異動による交代役員
・協力隊事業の現況　JICA 九州所長　後藤　光　氏

6.　閉　会

・総会終了後　帰国隊員報告会
報告者　南田敏朗 氏（2022－4 次隊、トンガ王国 、養殖）

第１号議案　令和６年度事業報告

（令和６年４月１日 ～ 令和７年３月３１日）

1.　帰国隊員への進路支援

a）帰国隊員の進路相談支援

派遣中隊員より帰国後の進路について相談１件

b）帰国隊員の知事表敬同行

・令和６年７月３０日副知事表敬に同行

・令和７年３月２８日副知事表敬に同行

c）県内企業求人・進学など進路に関する情報収集と提供

２．現職派遣の推進

自治体職員の現職参加についての相談１件

３．協力隊事業の広報並びに国際性豊かな青少年の育成

a）「協力隊ＯＢと留学生が先生」教育プログラムの実施

（青年海外協力隊鹿児島県 OB 会、(公財) 鹿児島県国際交流協会で実行委員会を組織）

県下２３市町村の４０校で実施。派遣人数延べ 56 名、参加者数 2,164 名。詳細は別紙参照。

b）第３１回鹿児島県青少年国際協力体験事業の実施

（青年海外協力隊鹿児島県 OB 会、(公財) 鹿児島県国際交流協会で実行委員会組織）

実施日　：　令和６年７月２１日～７月２８日　７泊８日

派遣国　：　カンボジア王国　プノンペン、シェムリアップ

派遣人員：　県内中高校生１６名、引率者６名（うちマスコミ２名）

内　容　：　JICA カンボジア事務所訪問、ドゥン・デアヴ村ホームステイ４泊、青年海外協力隊員活動現場訪問２か所、現地中学校での交流

関係先報告：教育長、県観光文化・スポーツ部長、共催市長、協賛企業

報告会　：　令和６年８月１７日

報告書「オークン　チュラウン！ドゥン・デアヴ村」作成・発送

c）国際協力講演会の開催

（青年海外協力隊鹿児島県 OB 会、(公財)鹿児島市国際交流財団との共催）

・日　時　－　令和７年３月１６日（日）

・内　容　－　第１部　国際協力講演会

講題：「命をつなぐ～国境なき医師団の人道援助活動～」

講師：国境なき医師団日本　会長　中嶋 優子

第２部　青年海外協力隊　帰国隊員報告会
中川 潤　　氏　（バングラデシュ、料理）
吉崎 美幸　氏　（ジブチ共和国、公衆衛生）

・場　所　－　かごしま国際交流センター
・参加者　―　約１４０名

d）ホームページの http://www.kagojocv.net の充実

４．派遣中青年海外協力隊員・シニア隊員・日系青年ボランティアへの支援

a）月刊誌「グラフかごしま」・「県政かわら版」の送付
b）出発隊員壮行会の開催　－
１１月２１日２名、３月２８日６名
c）ボランティア家族連絡会の開催　－　中止
d）出発隊員知事表敬への同行　－　３回
7月３０日１名、１１月２１日２名、３月２８日６名

５．組織強化及び会員サービス

a）月刊誌「クロスロード」及び協力隊カレンダーの送付
b）会報「積乱雲」の発行及び送付　－　年２回発行
c）会員増強　－　法人、個人へ加入の呼びかけ
d）会員状況　　令和７年３月３１日現在

	会　員　数	対 前 年 比	口　　数	対 前 年 比
地 方 自 治 体	３０	増減なし	４７口	増減なし
団 体 ・ 企 業	４１	－２	５３口	－３
個　　人	３１	＋１	３３口	＋１
合　　計	１０２	－１	１３３口	－２

6. 国際協力支援及び広報活動

a）県内各地での帰国隊員報告会の実施（協力隊ＯＢ会との共催）
・アジアン芸術祭、知覧小京都祭り、鹿屋バラ祭り、霧島初午祭、鹿児島純大祭
b）「小さなハートプロジェクト」の実施　－　派遣中隊員からの要請なし。
c）県民の「国際支援・協力への思い」橋渡し支援
・中古鍵盤ハーモニカのカンボジア小学校への輸送を支援
d）国際交流・協力イベントへの参加ーパネル展示、相談コーナーの設置
・かのやバラ園協力隊 OB 会ブース出展、国際協力パネル展（イオンモール鹿児島）
e）マスコミへの取材協力　―　南日本新聞社、KKB 鹿児島放送、FM ラジオ
f）講師派遣　－　鹿児島大学、かのやバラ園、KAPIC センター等

7. 各種機関・団体との連携

鹿児島県、JICA 九州、青年海外協力隊ＯＢ会、(公財)鹿児島県国際交流協会、(公財)鹿児島市国際交流財団、鹿児島国際交流促進センター（KAPIC、かごしま国際交流センター）他関係団体との連携

8. 会議開催及び行事参加

ａ）通常総会・理事会の開催

通常総会　－　令和６年７月３１日

理事会　　－　第１回　令和６年７月３１日

ｂ）国際協力・交流関係会議、行事への参加

ｃ）JICA 全九州ＯＢ会・支援する会ブロック会議参加

第2号議案　令和6年度収支決算

（令和6年 4月 1日 － 令和7年 3月31日）

＜ 収 入＞　　（単位円）

項　　目	予 算(A)	決 算(B)	増 減(B－A)	適　　要
会　　費	1,200,000	1,165,000	−35,000	法人会員100口×10,000 個人会員33口×5,000
助　成　金	80,000	80,000	0	(一社)協力隊を育てる会
雑　収　入	1,000	5,637	4,637	カレンダー販売4,900、預金利息737
繰　越　金	1,643,265	1,643,265	0	
合　　計	2,924,265	2,893,902	−30,363	

＜ 支 出＞

項　　目		予 算(A)	決 算(B)	増 減(B－A)	適　　要
1. 事務局費		290,000	113,066	−176,934	
	通　信　費	60,000	50,053	−9,947	総会案内、請求書発送,他
	印　刷　費	60,000	34,214	−25,786	総会資料、コピー代,
	会　議　費	60,000	12,139	−47,861	理事会、総会会場費
	消 耗 品 費	40,000	6,660	−33,340	封筒印刷、文房具、振込手数料,他
	負　担　金	20,000	10,000	−10,000	協力隊を育てる会年会費
	旅　　費	50,000	0	−50,000	
2. 事業費		2,040,000	1,274,796	−765,204	
	クロスロード月刊誌送付	250,000	193,750	−56,250	1,265冊X152円、カレンダー同封手数料
	出発隊員壮行会	50,000	47,674	−2,326	4回実施負担金、帰国隊員壮行を含む
	帰国隊員支援	30,000	0	−30,000	
	国際協力講演会	30,000	1,906	−28,094	
	留守家族懇談会	30,000	0	−30,000	
	協力隊OBと留学生が先生	350,000	350,000	0	実行委員会負担金
	派遣隊員への支援	300,000	0	−300,000	
	広報活動	250,000	129,700	−120,300	H/Pプロバイダー、カレンダー・リーフレット
	会報発行	250,000	193,966	−56,034	編集・印刷費、送料
	青少年国際協力体験事業	200,000	300,000	100,000	実行委員会負担金、
	国際協力支援事業	300,000	57,800	−242,200	カンボジア中古楽器送料
予備費		594,265	0	−594,265	
合　　計		2,924,265	1,387,862	−1,536,403	

（次年度繰越）　　2,893,902−1,387,862=1,506,040

令和6年度監査報告

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会の令和6年度事業報告、収支決算書について、帳票その他関係書類を監査したところその内容は適正であると認めます。

令和7年6月25日

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会

監事　千篭逸雄

令和7年6月25日

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会

監事　古田宣稔

第３号議案　令和７年度事業計画（案）

（令和７年４月１日 ～ 令和８年３月３１日）

青年海外協力隊事業は新型コロナの５類感染症移行後、派遣者数は回復基調にあり現在鹿児島県からは本年６月２５日現在１５名が１４か国に派遣されている。

本会は、海外協力隊事業への支援と共に、次代を担う国際性豊かな青少年の育成、鹿児島の更なる国際化に向けての活動を続けてまいります。

1.　帰国隊員への進路支援

a）県下自治体の帰国隊員採用等の情報収集と提供

b）民間企業求人先開拓と JICA 民間連携セミナー等の活用

c）帰国隊員の知事表敬同行

d）県内企業求人・進学など進路に関する情報収集と提供

e）本会会員企業・団体、帰国隊員勤務先等よりの情報収集と提供

２．現職派遣の推進

募集説明会への出席や問い合わせ等で制度の紹介を行い応募相談に対応する。

３．協力隊事業の広報並びに国際性豊かな青少年の育成

a）「協力隊ＯＢと留学生が先生」教育プログラムの実施

（青年海外協力隊鹿児島県 OB 会、（公財）鹿児島県国際交流協会で実行委員会組織）

①県下２２市町村の４０小中校で実施予定

b）第３２回鹿児島県青少年国際協力体験事業の実施

（青年海外協力隊鹿児島県 OB 会、（公財）鹿児島県国際交流協会で実行委員会組織）

派遣地　－　ベトナム社会主義共和国（ハノイ、バクザン省）

派遣期間－　令和７年７月１９～２６日（7 泊８日）

派遣人数－　１８名（中学生９名、高校生９名）同行者６名（内マスコミ２名）

訪問先　－　JICA ベトナム事務所、協力隊員活動現場（幼児教育）、協力隊員活動現場（青少年活動）、ホームステイ先中学校

ホームステイ　－　トゥオン・ラン村　4 泊

c）国際協力講演会の開催

（青年海外協力隊鹿児島県 OB 会、(公財)鹿児島市国際交流財団との共催）

・時　　期　－　令和８年３月

・内　　容　－　第１部　国際協力講演会

講師　JICA 青年海外協力隊事務局長（予定）

第 2 部、帰国隊員報告会、青少年国際協力体験事業参加報告会

d）ホームページの http://www.kagojocv.net の充実

４．派遣中青年海外協力隊員・シニア隊員・日系ボランティアへの支援

ａ）月刊誌「グラフかごしま」・「県政かわら版」の送付

ｂ）壮行会の開催　年４回

ｃ）ボランティア家族連絡会の開催

ｄ）知事表敬への同行

５．組織強化及び会員サービス

a）月刊誌「クロスロード」及び協力隊カレンダーの送付

b）会報「積乱雲」の発行及び送付

c）会員増強　－　留守家族、民間企業、各種団体および個人へ加入の呼びかけ

6. 国際協力支援及び広報活動

ａ）県内各地での帰国隊員報告会の実施（協力隊ＯＢ会との共催）

ｂ）「小さなハートプロジェクト」の実施

ｃ）県民の「国際支援・協力への思い」橋渡し支援

ｄ）国際交流・協力イベントへの参加ーパネル展示、相談コーナーの設置

ｅ）マスコミへの取材協力

ｆ）講師派遣　－　自治体、高校、大学、各種団体、企業等

7. 各種機関・団体との連携

鹿児島県、JICA 九州、青年海外協力隊鹿児島県ＯＢ会、(公財)鹿児島県国際交流協会、(公財)鹿児島市国際交流財団、鹿児島国際交流促進センター（KAPIC、鹿児島県国際交流センター）他関係団体との連携

8. 会議開催及び行事参加

ａ）通常総会・理事会の開催

通常総会　－　令和７年６月２５日

理事会　　－　第１回　令和７年６月２５日、　第２回　１２月

ｂ）各種国際協力・交流関係会議、行事への参加

ｃ）JICA 九州・一般社団法人協力隊を育てる会関連会議への参加

第4号議案　令和7年度予算(案)

（令和7年 4月 1日 － 令和8年 3月31日）

＜ 収 入＞　　（単位円）

項　　目	予　算	前年度予算	対前年増減	適　　要
会　　費	1,165,000	1,200,000	−35,000	法人会員100口×10,000 個人会員33口×5,000
助　成　金	80,000	80,000	0	(社)協力隊を育てる会
雑　収　入	1,000	1,000	0	預金利息、カレンダー販売
繰　越　金	1,506,040	1,643,265	−137,225	
合　　計	2,752,040	2,924,265	−172,225	

＜ 支 出＞

項　　目		予　算	前年度予算	対前年増減	適　　要
1. 事務局費		290,000	290,000	0	
	通　信　費	60,000	60,000	0	総会案内、請求書発送,他
	印　刷　費	60,000	60,000	0	総会資料、コピー代,他
	会　議　費	60,000	60,000	0	
	消 耗 品 費	40,000	40,000	0	封筒、文房具、振込手数料,他
	負　担　金	20,000	20,000	0	協力隊を育てる会・九州海外協力協会
	旅　　費	50,000	50,000	0	協力隊育てる会総会出席
2. 事業費		2,040,000	2,040,000	0	
	クロスロード月刊誌送付	250,000	250,000	0	2000冊X120円、カレンダー送付手数料
	出発隊員壮行会	50,000	50,000	0	負担金
	帰国隊員支援	30,000	30,000	0	
	国際協力講演会	30,000	30,000	0	通信費,帰国報告
	留守家族懇談会	30,000	30,000	0	
	協力隊OBと留学生が先生	350,000	350,000	0	実行委員会負担金
	派遣隊員支援	300,000	300,000	0	ｸﾞﾗﾌかごしま・県政かわら版 送付
	広報活動	250,000	250,000	0	HP、パネル展、カレンダー、帰国報告
	会報発行	250,000	250,000	0	印刷費・送料
	青少年国際協力体験事業	200,000	200,000	0	実行委員会負担金(R5年度決算¥500,000)
	国際協力支援事業	300,000	300,000	0	小さなハートプロジェクト他
予備費		422,040	594,265	−172,225	
合　　計		2,752,040	2,924,265	−172,225	

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会役員

令和7年7月1日～令和9年6月30日

役員名		氏名	現役職名
顧問		塩田 康一	鹿児島県 知事
〃	★	井戸 章雄	鹿児島大学 学長
〃		下鶴 隆央	鹿児島市 市長
〃		岩崎 芳太郎	鹿児島商工会議所 会頭
会長		衛藤 威臣	鹿児島大学名誉教授
副会長	★	米盛 幸一	(公財)鹿児島県国際交流協会 専務理事
理事		永倉 悦雄	鹿児島相互信用金庫 理事長
〃		岩元 純吉	㈱山形屋 代表取締役会長
〃		郡山 明久	㈱鹿児島銀行 頭取
〃		永山 由高	鹿児島県市長会（日置市長）
〃		小正 芳史	鹿児島県中小企業団体中央会 会長
〃	★	山下 政志	鹿児島県町村会 事務局長
〃		佐潟 隆一	㈱南日本新聞社 社長
〃		志賀 啓一	志學館大学 理事長
〃	★	甫立 哲一郎	鹿児島県国際交流課 課長
〃		橋口 知章	川内商工会議所 会頭
〃		新屋 浩一	鹿屋商工会議所 会頭
〃		上野 総一郎	南国殖産㈱ 社長
〃		中野 寿康	㈱南日本放送 社長
〃		原口 泉	志學館大学 教授
〃		東 勤	㈱ヒガシマル 社長
〃		南 徹	iBS外語学院 院長
〃		田中 暁爾	㈱南日本銀行 頭取
〃		安楽 大	㈱トータルコミュニケーションサービス 社長
〃		梅野 太平	青年海外協力隊鹿児島県OB会 会長
〃		桑山 昌洋	鹿児島県国際交流センター 所長
兼事務局長		弓場 秋信	弓場貿易㈱ 社長
監事		古田 宜稔	外薗グループ 部長
〃		千竈 逸雄	青年海外協力隊OB会

★人事異動による交代

令和　7年　4月14日　（南日本新聞）

鍵盤ハーモニカ カンボジアへ

教育支援団体75台寄贈

カンボジアで中学校舎の建設や小学校の運動会開催を支援している「いっしょき学校を作いもんそ会」（鹿児島市、弓場秋信会長）は今春、県内の小学校卒業生から譲り受けた鍵盤ハーモニカ75台をカンボジアの小学校に贈った。「運動会で演奏したい」という現地の要請に応えた。

カンボジアの小学校に贈られた鍵盤ハーモニカ（会提供）

運動会での演奏期待

同会のカンボジア支援は1997年に始まった。ポル・ポト政権下で知識層が失われた同国に中学校支援が必要と、タイ国境近くのポイペト地区を中心に校舎建設や施設整備、教員育成を支援してきた。鹿屋市の小学校で研修したカンボジア人教師が日本の運動会を体験したのをきっかけに、2007年に同地区でも運動会が始まった。現在は7校に広がり、会の支援はソフト面が中心になった。

カンボジアの小学校の様子を説明する「いっしょき学校を作いもんそ会」の弓場秋信会長（左）と田野邉稔子副会長　＝鹿児島市の弓場貿易

同会によると、現地の運動会は、開会式に地区の大人が正装で参加する地域を挙げた行事に定着した。うち1校の校長から、晴れの舞台で国歌を演奏したいと申し出があった。

副会長の元教員、田野邉稔子さん(82)は「20年前に5校に持って行ったが、情操教育が確立しておらず、使われないままだった。20年前のことが生きてきた」と喜び、県内各地の小学校やPTAに呼びかけた。輸送は県青年海外協力隊を支援する会が担った。

運動会は毎年8月末に開かれ、会員も視察に行く。元教員の会員らが楽譜を送って現地の教員に遠隔指導する予定。弓場会長は「ポル・ポト時代を経て、暗かった社会がだんだん明るくなってきた。今年は鍵盤ハーモニカの演奏が楽しみ」と話した。（兵頭昌岳）

協力隊 OB と留学生が先生
～見える・学べる・世界の国々～

（5）事業実績

敬称略

教育事務所	市町村名	学校名	学年	対象人数	派遣日	OB	外国人（国籍・所属）
鹿児島市教育委員会	鹿児島市	カモイケショ ウガッコウ 鴨池小学校	6	82	12月20日	木原和代（パラグアイ）	-
		ヒロキ　ショ ウガッコウ 広木小学校	6	104	12月12日	仮屋慶一（モルディブ）	-
		クロ カミ チュウガッコウ 黒神中学校	2	1	6月12日	木原和代（パラグアイ）	李家锋（リカホ）・中国
		スズヤマ チュウガッコウ 錫山中学校	全	18	12月13日	濱田孝子（キルギス）	モンモンミント（ミャンマー）
		メイワ　チュウガッコウ 明和中学校	全	187	12月13日	サナブリア　智子（パラグアイ）	-
		セイリョ ウショ ウガッコウ 西陵小学校	5	117	2月8日	仮屋慶一（モルディブ）	-
		カゴシマ　ギョクリュウ ガッコウ 鹿児島玉龍中学校	全	358	6月12日	本田隆一（トンガ）	マイサムス　レイウェル（シリア）
鹿児島教育事務所	日置市	イザワダ　ショ ウガッコウ 伊作田小学校	3.4	13	1月23日	岡田香織（マレーシア）	-
	いちき串木野市	セイ フク ショ ウガッコウ 生福小学校	5.6	21	10月22日	岡田香織（マレーシア）	テン　スーペイ（中国）
	十島村	アクセキジマ　ショ ウチュウガッコウ 悪石島小中学校	全	14	11月12日	ダナム由紀恵（ガーナ）	メアリーフランシンカストロバーデ(フィリピン)
	日置市	ナガヨシ 永吉小学校	全・保護者	27	11月6日	岡田香織（マレーシア）	-
南薩教育事務所	枕崎市	マクラザキ 枕崎中学校	3	62	6月26日	山崎由夏（トンガ）	-
	指宿市	カワシリ 川尻小学校	5・6	13	11月9日	山崎由夏（トンガ）	-
	枕崎市	ベップ チュウガッコウ 別府中学校	全	55	12月14日	木原和代（パラグアイ）	-
	枕崎市	サクラ ヤマショ ウガッコウ 桜山小学校	6	32	1月31日	近森章（ラオス）	
北薩教育事務所	出水市	コメ　ツヒガシショ ウガッコウ 米ノ津東小学校	5・6	58	6月10日	仮屋慶一（モルディブ）	-
	出水市	ニシイズミ　ショ ウガッコウ 西出水小学校	6	91	1月23日	塚田拓（コスタリカ）	-
	阿久根市	オリタ　ショ ウガッコウ 折多小学校	5.6	33	1月28日	塚田拓（コスタリカ）	-
	阿久根市	アクネチュウガッコウ 阿久根中学校	2	98	6月14日	本田隆一（トンガ）	-
	阿久根市	ワキモトショ ウガッコウ 脇本小学校	6	26	11月5日	本田隆一（トンガ）	黄敬蓉（台湾）
	長島町	ヒラオショ ウガッコウ 平尾小学校	全	77	11月14日	近森章（ラオス）	ミュラー キム・ヤンカ（ドイツ）
姶良・伊佐教育事務所	霧島市	マキノハラチュウガッコウ　ワカコマブンコウ 牧之原中学校若駒分校	全	7	12月17日	長嶺快多（パプアニューギニア）	マイサム　スレイウェル（シリア）
	伊佐市	ヤマノショ ウガッコウ 山野小学校	全	34	11月6日	竹野愛（タイ）	-
	姶良市	ニシウラショ ウガッコウ 西浦小学校	全	31	7月5日	田中久雄（インドネシア）	エー ナンダー トン（ミャンマー）
	湧水町	ヨシマツ チュウガッコウ 吉松中学校	全	51	7月17日	盛重洋志（ドミニカ）	-
	霧島市	コクブミナミ　ショ ウガッコウ 国分南小学校	6	82	1月21日	仮屋慶一（モルディブ）	シン　ジョンヒ（韓国）
	姶良市	ニシキエ ショ ウガッコウ 錦江小学校	4	42	1月29日	永山俊介（中国）	-
大隅教育事務所	錦江町	タシロ　チュウガッコウ 田代中学校	全	42	11月13日	長嶺快多（パプアニューギニア）	シムジュンジャ(マレーシア)
	肝付町	クニミ　チュウガッコウ 国見中学校	全	30	11月29日	仮屋慶一（モルディブ）	メアリーフランシンカストロバーデ(フィリピン)
熊毛教育事務所	屋久島町	アンボウショ ウガッコウ 安房小学校	全	11	2月5日	小澤まゆか（バヌアツ）	ダヤナ　アキラ（マレーシア）
	西之表市	アンジョウショ ウガッコウ 安城小学校	全	18	1月31日	佐藤貴之（カンボジア）	-
	中種子町	マスダショ ウガッコウ 増田小学校	3～6	16	2月19日	佐藤貴之（カンボジア）	ラシンドゥ（スリランカ）
	中種子町	ホシハラショ ウガッコウ 星原小学校	全	12	11月1日	佐藤貴之（カンボジア）	-
	西之表市	フルタ　ショ ウガッコウ 古田小学校	全	15	12月6日	佐藤貴之（カンボジア）	-
大島教育事務所	天城町	アマギチュウガッコウ 天城中学校	全	65	2月19日	徳亜梨紗（エクアドル）	-
	奄美市	アサヒ　ショ ウガッコウ 朝日小学校	6	113	1月31日	濱口悠介（ヨルダン）	
	徳之島町	ヒガシアマギ　チュウガッコウ 東天城中学校	全	41	11月1日	近森章（ラオス）	クリストファーリナルディ（アメリカ）
	大和村	ナオン　ショ ウガッコウ 名音小学校	全	15	2月20日	濱口悠介（ヨルダン）	キンラピエウィン（ミャンマー）
	伊仙町	アゴン ショ ウガッコウ 阿権小学校	全	16	10月31日	近森章（ラオス）	
私立	-	サンイクショ ウガッコウ 三育小学校	全	36	12月19日	下酔尾怜（モルディブ）	-
				2164			

令和６年度実施：４０校

（２３市町村）